

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ 85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃（注2）	
	電 圧	AC 200 V	使用湿度範囲	40 % ～ 80 %	
	電 流	1 A	保存湿度範囲	40 % ～ 70 %（注2）	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC OR 1000 Hz）以下で測定する。	15 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 650Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	単体挿抜力	0.5±0.002mmの鋼製ピンで測定する。	差込力 2.45 N 以下 引抜力 0.24 N 以上	○	—
	繰返し動作	100 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 20 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz、片振幅 1.5 mm、 3 方向各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 20 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 1000 MΩ以上	○	—
	温度サイクル	温度 - 55 →+15～+35→+ 85→+15～+35℃ 時間 30 → MAX 5→ 30→ MAX 5 分 を 5サイクル試験する。	③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	① 接触抵抗： 20 mΩ以下	○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、 96 時間放置する。 （試験規格：J E I D A 39）	② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	リフローの場合：ピーク温度 MAX250℃ 220℃以上 60秒以内 はんだごての場合：こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内	性能に影響する樹脂部の溶融が無いこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃、浸せき時間 3 秒の はんだ付けを行う。	はんだ浸漬面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—